

チャペルコンサートの06 メス・黒鹿毛 2006年3月10日生

全40口 ●1口50万円 (総額2,000万円)

生産 白老ファーム 繋養 早来ファーム



*ブライアンズタイム Brian's Time 黒鹿 1985	ロベルト Roberto 鹿 1969	Halo to Reason	Turn-to
	ケリーズデイ Kelley's Day 鹿 1977	Bramalea	Nothirdchance
チャペルコンサート 青鹿 1999	*サンデーサイレンス Sunday Silence 青鹿 1986	Graustark	Nashua
	*リーブフォージョイ Leap for Joy 栗 1992	Golden Trail	Rarelealea
		Halo	Ribot
		Wishing Well	Flower Bowl
		Sharpo	Hasty Road
		Humble Pie	Sunny Vale
		Hail to Reason	Cosmah
		Understanding	Mountain Flower
		Sharpen Up	Moiety Bird
		Known Fact	Scarcely Blessed(1)

ポイント

POINT

群れの中でひと際映える黒鹿毛の馬体は、小柄ながらいつも自然と目立ってしまう存在です。無駄肉のない体つきや薄い皮膚は母父の影響を強く受け、何かに弾かれたような「瞬発力」そのものの走りには目を見張るものがあります。気品あふれる表情どおりに相当な闘争心を持っているのも、同じく初仔だった母の当時の姿に重なります。自身はオークス2着の実績があるものの、母の家系はスプリンターの名で占められており、母似の本馬もマイルくらいの番組が最も得意とする舞台となりそうです。考えられる最高の配合から誕生した本馬が、母の奏でた夢の続きを見せてくれることでしょう。